

平成27年度 第4回南伊豆町学校統合審議会議事要旨

- 1 開催日時：平成27年7月1日(水) 19:00～21:20
 - 2 開催場所：役場3階 議場
 - 3 出席者：出席委員15名 欠席委員3名 事務局3名 ※傍聴者2名
 - 4 議 事
 - ・アンケート調査について
 - 5 資 料
 - ・経過報告資料
 - ・児童用アンケート
 - ・保護者アンケート（旧三浜小から南中小へ通学している保護者）
 - ・教員アンケート
 - ・保護者アンケート（南上小児童保護者、これから南上小に入学する児童保護者）
-

会長挨拶

こんばんは。生憎の天候の悪い中お集まりいただきありがとうございます。ごさいます。

最近の伊豆新聞に、西伊豆町の中学校が統合しようという内容の記事が載り、また下田市は学校の再編についての各中学校区を回って説明をしているということです。これは学校の在り方としてどういう風にしていくかといふことだと思います。もっと広く外に目を向けると、子どもの数が減っていくのを如何に食い止めるかという事で、学校の大きな特色を作っていこうと行こうということで、小学校で英語教育を取り入れて、よそからの子どもをより多く受け入れていこうという取り組みも行われている小学校もある記事を目にしました。

25年後には900近い自治体が消滅するというようなことも言われているわけですが、子どもの数が激変しているという中でいかに子どもの数、自治体の存続を考えていくかという事が非常に大きな課題となっていくかと思ひます。

そういう中で学校の在り方を考えていくということが、あちこちで行われている事が現状だと思います。

今回は昨年からスタートしたメンバーが大幅に入れ変わりました、初めての会合になります。通していうと第4回目の会合になるわけですが、

過半数の人が初めてこの場に出るという事です。今日の会合に先立って、先月新しく委員になった方を対象に、今までの経過について説明を行ってきました。また、南上小学校を見学して欲しいという意見も出て、24日に南上小の見学会を行い、7名の委員が参加されたという事も聞いております。

今日は統合についてのアンケートを取ってみようという事で、その中身について審議しようということです。

よろしくをお願いします。

事務局

ありがとうございました。

委嘱書の交付ですが、時間の都合もございまして、新しい審議員のみなさまについては、机の上に置かせていただきました。ご容赦いただきたいと思えます。

次第4番の自己紹介です。初めての顔合わせという事になりますので、自己紹介をお願いします。

(会長から順番に自己紹介)

事務局

今回お配りした次第の裏面にこれまでの経過を載せましたので説明させていただきます。

(本日までの経過説明)

事務局

議事に入る前に、南上小 PTA 会長の鈴木さんから資料をいただきました。この件について、説明をいただきたいと思いますので、鈴木委員をお願いします。

委員

実は PTA の方としても意見の集約をしたいという事で、去年の 11 月にこの審議が立ち上がって、いきなりこの様な話が立ちあがって、PTA としてもいきなりの話だったので、戸惑いもあり、新聞報道で確定するのか、というような話になってしまい、統合ありきではないという事ですが、PTA のみなさんはどのような事を考えているのか、意見を集約しなければということで、去年の 12 月に 1 回アンケートを取り、そして新年度に入り 4 月 24 日に意見交換会を開催しました。

資料1の1ページ目に意見交換会の結果があります。

4月24日、PTA総会終了後に意見交換会を行い、33名の保護者が4つのグループに分かれて意見交換をしました。

(Aグループの意見を読み上げる。)

このように、意見は賛否両論でした。意見を集約し、この場(統合審議会)でお話しすると言ってきました。

今後、アンケートを実施するというお話も聞いておりますので、PTAとしてはこのような意見があったという事で、目を通していただきたいと思います。プラス面もマイナス面も必ず発生すると思います。統合するにしても統合しないにしても。ただどこを見ていかなければならないかという事ははっきりしていけないといけないと思います。

資料1の裏面にもグループ討議で出された意見の概要を載せてあります。南上小学校で学ぶ場合の良い点と心配な点、あえて悪い点、心配な点もあります。また統合した学校で学ぶ場合の良い点と心配な点の意見を集約させていただきました。本当に賛否両論ですが、私の個人的な意見を述べさせていただきます。できれば、できたら残していただきたい。その理由の一つとして一番後ろのページにある教育委員会からの資料ですが、児童数の推移があります。過去の統合した学校から比べると児童数の減少がない。また平成31年、32年には複式が解消されると見込まれています。このまま児童数が減少していくなれば統合に賛成するが、児童数が現状維持できるなら、そのまま残していただきたい。この学校の雰囲気はとても良い、そして下小野の若い世代が子供を連れて帰ってくるという話も聞いています。もし良かったらこのまま残していただきたい。PTAの中からもそのような意見が多かったので、今回このような資料をつけさせていただきました。中にはもちろん統合した方が良いという意見もあります。ただ、自分も子供が生まれて妻の実家である下小野に帰ってきました。子どもの為を思うと、自分たち両親は働いているので、預けられる祖父母がいる、近くに小学校があるという事が一番強かったので帰ってきたというわけです。

自分の仕事柄町内の人たちと話す機会があって、何名かの人と話したのですが、学校が統合してから、若い人たちが戻ってこなくなったというような話を聞いています。小学校があるときはもう少し子供の姿が見えたのに統合し

てから子供の姿が見えなくなった。地域で遊んでいる子供たちがいなくなった。やはり統合すると学校の近くの子供たちと遊ぶようになる。子供たちがいなくなって、年寄りだけが残される現状が仕方ない、自分たちはここで生まれ育って、10年後20年度ここが空き家になってしまう。10年後この地区は人数が半分になってしまうと寂しそうに言っている人もいました。自分の事の様で、私も10年20年下小野で暮らしていくと思いますが、その10年20年先を考えた時に自分より年上の人はいても年下の人が少ない中で、どうなっていくのか不安になりました。初めは子供の目線で考えていたことが巡り巡って自分の目線で考えるようになっていました。できればのこしていただきたいです。もちろん子供の数が減ってきたら統合しなければならないとは思っていますが。

この様な意見も踏まえて、審議していただきたいと思います。

事務局

ありがとうございました。南上小独自のアンケートという事で、この審議会ですらどうこうという事ではありませんが、何か意見、質問等あれば鈴木さんに答えていただきたいと思いますが、何かありますか。

特になければ議事に入ります。

以前からアンケートを行おうという事で進めてきた中で、事務局でたたき台を作成しました。この設問についての意見をいただきたいと思います。

まずは資料1をご覧ください。今回いろいろな角度からアンケートを取りたいと考えておまして、まず最初は三浜小から南中小に統合した児童に対するアンケートです。対象児童は4名いるそうです。内容はとても簡単なものです。

(アンケートの設問について説明)

今回は資料が多いので一つずつ確認していきます。まず、対象児童4名は何年生ですか。

委員

6年生1名、5年生3名です。

委員

問4は女の子が1名しかいないので必要ないのでは。

事務局

川合先生は三浜小からそのまま南中小へ異動されたので、4名の様子はわかっているかと思いますが、それでもこの4名に対してアンケートを取る必要

があるか、また他に聞きたいことはあるか等のご意見があればお願いします。

委員 昨年6年生が5人いた。今の中1。統合のしわ寄せを食らったのが正にその子たちなので小学生4人と中学1年生5人にも意見を聞いてもらいたい。どんな苦勞をしたのか、一番良くわかっていると思う。良かったことも悪かったことも良くわかっている。

委員長 問4の男女別は残した方が良いか。

委員 それでも3人しかいない。誰が書いたかわかってしまうので、いらぬのでは。何年生かもわかってしまうので、いらぬのでは。

事務局 アンケート結果について、審議会内の資料として考えているが、公表すべきでしょうか。みなさんのご意見は。

委員 審議会内の資料で良いのでは。

事務局 もちろんアンケート内容から個人を特定するものではないです。他に内容について、どうでしょうか。

委員 学年について、何年生ではなく、小学生か中学生かという聞き方にすれば良いのでは。

事務局 男女についてはどうでしょうか。やはり男女で差が出てくると思うので、残した方が良いかと思いますが。

副委員長 内容に変化が出てくるので残した方が良い。

事務局 設問内容についてはこの様な感じで、小学生か中学生かに変えるという事でいいでしょうか。

委員 設問の回答で「どちらともいえない」という曖昧な回答は必要でしょうか。

事務局 内容をあまり難しくしたくないので、「どちらともいえない」という回答を

入れました。

委員 「どちらともいえない」という回答をする子供は、それがその子の素直な意見だと思う。

委員長 このアンケートは三浜小と南中小が統合した当時の子供たちの現状を知るといふ事にとどめておくといふ事でよろしいでしょうか。

委員 議事録はどうなりますか。議事録に載ってしまうと公表したと同じといふ事になってしまいますが。

事務局 議事録には「アンケート結果について協議した」としか載らないので、その詳細については考えておりません。

委員 南上小でも子供の意見を聞いたみたいといふ意見もあったのですが、子供の精神的な負担がどれくらいあるか考慮すると、今の所行っていない。とてもデリケートな事なので、他に漏れないようにうまくやってほしい。

委員 南上小の保護者も統合した後子供たちがどう思うかといふのはいろいろ考えていると思うのですが、南上小の保護者にも参考資料として公表するのは無しでしょうか。

事務局 この審議会に南上小の保護者に4名入ってもらっています。南上小独自の動きもある中で当然ながらアンケート結果を歪曲してみなさんが公表するといふ事もないでしょうし、それであればアンケート結果を南上小の保護者に公表することは自由だと思います。高橋校長と相談して行ってください。

委員 保護者から質問があった時に口頭で良かったと思っている子が多いみたいだよとか、その程度なら伝えてもいいのでしょうか。

事務局 第1回目の審議会の中で、ある程度結果を説明しなければならないといふ話になった。PTA会長にしても、区長さんにしても説明責任が出てくるので、各委員の判断で良いのではないのでしょうか。

委員長 結果が出てからどの程度公表するか決めても良いのではないのでしょうか。

委員 その意見に賛成です。結果が出てから考えた方が良いでしょう。

委員長 それでは資料2について説明をお願いします。

事務局 こちらは、資料1の子供の保護者に対するアンケートです。

(設問についての説明)

委員長 質問の内容に目を通していただいて、ご意見がありましたらお願いします。

委員 問4の①に「その他」とあるが、1軒の家は何枚も配るのか。
それとも各家庭に1枚なのか。父親と母親で意見の違う家もあるだろうし。
おじいちゃんが何か一言言いたい家もあるだろうし。

事務局 子供の数と、保護者の数枚でしょうか。三浜小の時も家族内で意見が違った
ということがあったのでしょうか。

委員 自分の家は父母で意見が違っていた。他の家庭でもまったく同じというわけ
ではなかったと思う。

事務局 家庭内のそれぞれの意見が出てきて面白いのかもしれないね。

委員長 それでは、家庭の回答者の数だけ配るということでしょうか。

委員 せめて2枚は配った方が良いでしょう。

事務局 祖父母の分はどうでしょう。必要ないですかね。

委員 一言言いたいおじいさんおばあさんもいるのではないのでしょうか。

事務局 一家族3枚あればいいのでしょうか。

委員長 では、一家族3枚配って必要な枚数を提出していただくということにします。他に何かありますか。

委 員 これは中一の保護者の分も配るということでしょうか。

事務局 先ほどの資料1と同じように配ります。

委員長 では資料2についてはよろしいですか。ではこの形で進めます。次に資料3について説明をお願いします。

事務局 (資料3について説明)

委 員 統合するかしないかの判断基準をどこに置くかという事をもう少し明確にしないとぼやけてしまって、アンケートの内容も一般的なものになってしまう。南伊豆町内の先生にアンケートをとるなら、今の南上小の現状に対して、もし自分が南上小に勤めたら、または複式学級の担任になったらという事を想定してのアンケートにした方が、より具体的になるのではないですか。

委 員 私もそう思います。やはり現状を知ってもらった上で話し合いをしてもらいたいと思って、前回複式学級の見学を提案しました。
このアンケートを見て、一般的な事を聞きたいのか南上小の事を聞きたいのか、内容がぼやけてしまっていると思います。
南上中の統合の時は、先生方の意見は聞けなかったと聞いているので、今回はぜひ南上小に特化した内容でアンケートを取ってもらいたい。

委 員 私もそう思います。この内容だと、例えば三浜小の複式学級をイメージして答えた場合と、南上小の複式学級をイメージして答えた場合だと回答が違ってくると思います。実際の南上小を意識したアンケートにした方が良いと思います。

委員長 3人の意見では、アンケートの内容が一般的すぎるのではないかと。もう少し南上小を意識した中で回答してもらった方が良いということですね。
そして、複式学級だと先生が大変だからということで回答するのか、複式学級の中での子供たちの様子を見て回答するのか、という事が私の考えていた内

容と違っていたので、その辺の質問の投げかけをどのようにしていくかという事も考えていただきたい。

委員 4月のPTA総会の時に校長先生と話をしたのですが、現在の南上小の先生の意見の聞いてみたかったが、その意見を聞いてしまうと、先生方の意見に流れてしまう恐れがあるということで、PTAのみのアンケートとした経緯があります。今回このように先生方の生の意見を聞けることはありがたいと思いますが、子供目線でのアンケートも取り入れていただくことは出来ないでしょうか。

副委員長 管理職の目を通さない現場の先生の意見も必要ですね。

委員 南上中の統合の時も、このような話し合いの場があったが、その時は統合するという方向にすでに決まっていたの会議だった。今回は前回と違って統合するかしないかを話し合っている。今回は先生方と地域の人の情熱にかかっていると思います。このまま南上小を残していきたいという情熱があれば統合しないし、情熱がなければ統合するしかないのだと思います。そのような内容でのアンケートにてもらいたい。

委員 先生のアンケートに重きを置くと、偏った意見になってしまうのではないのでしょうか。その学校に係っている先生は統合に賛成するわけではないと思う。

副委員長 今回は心情ありきの問題ではないはず。大人の思いがあれば南上小を残せるとは思っていないはず。

ただ教員は誰もが複式学級はめんどくさいなんて思っていないはず。複式学級をうけるには通常以上に勉強しているし、普通学級の3倍も労力を使っている。それを嫌々やっている教員なんていないと思う。なので、そうでない部分で審議していかないといけない。それは子供の幸せです。大人の心情も大切ですが、子供をどう育てていくか、子供にとって何が一番良いかなので、そこを踏みちがえてはいけない。なので、教員の熱さは熱さで残していかななくてはならないが、例えば、2年生はずっと複式学級のままであることが、いいのかということも踏まえて考えていかななくてはならない。複式学級のままでいくことが本当にいいのか、多人数のクラスならこんなことも出来たのかという事があるのなら、今の複式学級がいいからこの先も複式学

級のままでいいとは限らないと思う。

委員 小さい時の教育が大人になっても生きていけるかどうか、生きて行く力を培っているかどうかをどこで見るかという問題がある。それを以前から言っているが、掃除をする力で見つけていきたいと思っている。自己教育力はそういう中で出てくると思う。小規模校であろうと、大規模校であろうと、そういう中で出てくれば問題ないのだと思う。その子が将来にわたって自分を磨き続ける力をどのようにつけていくか、それを現状でどう見るか、それが一つの大きな問題であると思う。

もう一つは中一問題。中学一年生になって不登校になる子が激増している。小規模校の子たちはその問題を本当にクリアできないのか。今、南伊豆中の20年くらいの不登校の生徒の数を調べてもらっているが、どの地域の子の不登校が多いのか、小規模校から行った子は本当に不登校が多いのか、地域に偏りがあるのか調べている。あと、小規模校はコミュニケーション能力が育たないのかという問題がある。いろいろな家庭があるので一概には言えないが、その辺もシビアに見ていかなくてはならないと思う。そういう事も踏まえて先生方の意見を取ってもいいと思う。

委員 南上小にフォーカスを当てた場合、先生に対して、現在の南上小の事はもちろんの事、今後の子供の数の推移も情報提供する必要があるのでは。

委員 今後の事は知らない先生もいるのは。現状は知っていても、子供の数が減らないことや、何人から複式になるとか、三浜小にいた先生は知っているかもしれないが、町外の大きな学校からきた先生は知らない可能性があるので、子供の数の推移の表や複式についての説明は必要だと思う。

副委員長 不確定な要素は別として、今後の推移や複式が解消される時期があるということを知らせていかないと、このまま子供の数が減り続けるというイメージがあるので、三浜小の様に子供が減り続けるのと、変わらないというのでは、アンケートの答え方も変わってくると思う。その辺の情報は正確に出していなければならない。

委員 昨年までいた先生は、南上小の研究発表を見ているので現状は分かっていると思う。

- 副委員長 小学校の先生方は大丈夫だと思うが、中学校の先生は複式を知らない若い先生が多いので、説明が必要となる。
- 委員長 これについては、微々たる修正では済まないようですので、教員と保護者は同じタイミングでは出せないですね。
- 事務局 内容について、次回もう一度審議会に諮ってから決定していきたいと思います。
- 委員長 では次に資料No.4について説明をお願いします。
- 事務局 (資料No.4について説明)
- 委員長 ページ数が多いので、1ページずつ進めていきたいと思います。まず4ページ目からお願いします。
- 委員 これから入学する保護者に対してもこのアンケートをするのですよね。複式について「教育上の課題」を8個も上げられてから複式賛成には○を付けてくいのでは。
- 事務局 今回は複式が解消されないという事でこの審議会が始まっていて、また明確な根拠が必要であるということで、この「学校規模の適正化に関する手引き」がある以上は提示しなければならないと思っています。
- 委員 この手引きは「統合ありき」というわけではないという事を知らせてからでないと、統合に誘導されてしまう恐れがある。この手引きは統合が前提であるという風を感じてしまっても違和感がある。
私は横浜の大規模校で育った。南上小の学年を超えた関わり子供たちにとってとても良い影響を与えていると思う。
複式の良さが見えてこないフェアなアンケートにはならないのでは。この書き方だと、とてもネガティブな情報しかないのでは。
- 委員長 町内の小学校はどこも小規模校で、縦割りでの活動が多い。上級生が下級

生の面倒を見たり、下級生が上級生を頼ったりという、そのような中での生活はどこももたれている。

副委員長 統合しても少人数です。大人数ではなく、単学級のままです。南上小とは違って縦割りは出来ています。

そして少人数の問題は男女比です。学年に女子一人の時がありますね。これは中学になった時に大きな問題になってくると思います。

委員 そういったデメリットはたくさんあると思います。その部分は保護者や先生や周りの大人がフォローするというような前向きな考え方でいかないとならないのでは。

副委員長 これはアンケートなので、方向性を先に決めてしまっってはいけない。ここは保護者が頑張る所、ここは先生が頑張る所という風に決めてしまっってはならない。一定のラインを決めるために手引きは必要。

委員 メリット、デメリット両方を載せるべきでは。手引きにはメリットも載っていますよね。

委員長 では、メリット、デメリットを並列して記載するという事で良いでしょうか。次の問2についていかがでしょうか。

委員 4行目の「道徳などは」から3行は削除してください。昨年の担任のミスなので、普段このような事はありません。

副委員長 普段はこのような事はないので、削除して良いのでは。

委員長 では削除するという事で。
次に問3について、何かありますか。

委員 1行目の「課題が極めて大きい～」については、削除した方が良いのでは。デメリットばかりなので。

事務局 手引きに「極めて大きい」という表現がある以上、それを載せない方が問

題になるのでは。説明責任は果たさないといけないと思います。

委員 現在の南上小で教育上の問題が発生しているかどうかを確認するという事ですね。

委員 全体的に在学中の保護者とこれから入学する保護者のアンケートを分けた方がいいのではないですか。

委員 在学中でも自分の子供が複式ではないとわからない保護者も多いのではないのでしょうか。

副委員長 3番の様な回答もあるので、全国的には問題が起こっているが、南上小は該当しないと思っていれば、そこに○を付ければ良いのではないかと。なので、1行目を削除するにしても、この質問は残して、意見を聞いた方が良いのではないかと思います。

委員長 では状況説明の前半部分はカットして「現在の南上小～」を残していくということよろしいですか。

委員 問3に関しては、「在学中の保護者のみお答えください」等の一文を入れて、未就学児童の保護者は記入できないようにすることは出来ないのでしょうか。予想で無責任な事を書かれても困るので。

委員長 では一文を入れるということが良いのでしょうか。次に問4についてどうでしょうか。

委員 この項目は必要でしょうか。

副委員長 統合しても適正規模にならないので、いらないですね。

委員長 では問4はカットするということが良いのでしょうか。問5についてはどうでしょうか。

委員 「感想」では「考え」に統一した方が良い。

- 委員長 他はないですか。それでは次の問6はどうでしょうか。
- 委員 設問でこのように書かれてしまうと、他に書くことがなくなってしまう。この問6と問7はいらないのでは。
- 副委員長 この問6はいらないと思う。ただ問7は地域コミュニティの役割なので残した方が良い。これは工夫の有り様を記述すればよいので。
- 委員 もう少し書きやすい形での設問にしてほしい。問6がなくなれば問7は書きやすいと思う。「このほかにも」「あれば」という表現は削ってほしい。
- 委員 自由に記入して良いのなら、もう少しやさしい表現にした方が良くと思います。
- 委員長 文言は事務局で検討してもらおうという事で、次に問8についてどうでしょうか。
- 委員 リード文が長すぎると答えたくなくなってしまう。これだけボリュームのあるアンケートなので、もう少しシンプルな質問にならないでしょうか。
- 委員長 では、表示方法を検討するということで、内容はこのままで良いでしょうか。次に問9です。いかがでしょうか。
意見がないようですが、良いでしょうか。では次にいきます。
問10です。いかがでしょうか。
- 委員 今の気持ちを10項目に当てはめられればいけないでしょうか。自由記述にした方が良くはないでしょうか。
- 副委員長 10項目は偏ってはいない。自由記述にするとかえって書きにくいのでは。
- 委員 南上小PTAのアンケート資料2は今の気持ちに一番近いものに○を付けて理由を書いてもらったものです。このような形にしても良いのではないのでしょうか。

- 委員 「参考とさせていただきます」とあるが、何を理由に選んだのか意見を記入しないと参考にならないのでは。
- 委員 長くなってしまいますが、ここは重要な部分なので、自由記述があっても良いと思う。
- 副委員長 「その他」を設けて、1から9に当てはまらない意見を持っている場合は記入してもらった方が良い。そうしないと「わからない」という意見になってしまうので。
- 委員 番号で選んだあとに、その番号を選んだ理由を記述する欄を設ければ良い。
- 委員長 では、設問に「その他」を追加して、選んだ理由を記述するようにするという事で良いでしょうか。
次に問11です。ここは良いでしょうか。
以上が設問となります。
- 事務局 (内容について、再度確認)
- 委員長 アンケートについては以上です。その他で何かありますか。
- 事務局 南上の地域の人に対してアンケートは必要でしょうか。その場合内容はどのようにしましょうか。
- 委員 区としては統合に反対だが、実際に南上小に通っている子供の意見を尊重する。
- 委員 地域に密接した問題なので、子供がいない世帯でもアンケートをやるべき。アンケートが無理なら、各地区の意見を取りまとめる等した方が良いのでは。
- 委員 今までも集まって話し合いはしてきている。その中で区として決定は出来

ないという結果になっている。

委員 昨年度と今年度の南上振興協議会で統合審議会について説明をしてもらった。その後話し合いをした結果、区長会としては統合には反対する。ただ意見を求められると、子供たちの意見を尊重するという立場から回答は難しい。

委員 子供がいないと、統合に対して口出ししにくいという意見はわかりますが、学校がなくなった場合を想定すると意見も出やすいのではないのでしょうか。地域のコミュニティという側面からも意見を出していただけたらと思います。地域の人に対するアンケートはまた内容が違ってくると思います。

委員長 小学校がなくなった場合は区長会で話し合われているのではないのでしょうか。

委員 区長会としては統合に反対という意見だが、実際に通っている子供たちや保護者が賛成した場合、強く反対は出来ないということ。

委員 区長会として反対というのはおかしい。もっと自由な意見があっても良いのでは。南上の人たちは熱くなっていて、統合反対に向かっているのは良くわかるが、反対に統合した場合の良い面を何も見ていないと思う。今だけの思いではなくて、長い目で考えた方が良い。もう少し冷静に考えてみたらどうか。

委員 鈴木さんに聞きたいが、先ほど南伊豆に帰ってくる人がいると言っていたが、何人くらい来るのか。

委員 2人（2世帯）です。

委員 2人という数字も大事だが、私の聞いている話ではこんな子供の少ない所には帰ってこない。子供の為に良くないからといって帰ってこない人もいる。私は南崎ですが、そんな親もいるんです。
統合反対は本当に子供たちのためなのではないでしょうか。先ほどからすべて反

対という意見ですよね。何か意見が偏っているなという思いで話を聞いていました。

委員

私はこの地域が好きで、子供たちがどんどん少なくなっていく中で、この地域で仕事を探して生きていくことは大変だと思いますが、このままでもいいのかなという思いがあります。南伊豆町がいずれ無くなってしまいかもしれない、そういう中で何かできないかなと思って、子供たちが幸せになってほしいというこの地域を残すために何かできないかなという事で、この南上地区は下小野の話ですが、祭をやって、盆踊りをやって、2、3年前からどんど焼きをやり始めてます。地域の人たちが頑張っている姿を子供たちが見て、この地域はまだまだいい所だな、幸せな所だなと思ってくれば、学校がなくなれば子供たちがいなくなって、祭も盆踊りもなくなって寂しくなるなと思って。どうしようもないと思ってしまうとそれまでなんです。本当にこのままでいいのかなと思って。小学校があることによって元気になれる人もいるんです。頑張っている人もいるんで。子供たちの意見の中で小さい学校だからみんなが頑張らないといけないっていう子もいます。

委員長

鈴木さん、気持ちは分かりますが、時間も押しているのです。

南伊豆は現在高齢化率が40%を超えている中で、これから更に悪くなっていきます。ここ10年20年の南伊豆町の児童数がどれだけいるかということも出てくると思います。単に南上小と南中小の統合だけではなくて、南伊豆全体をどうするのかという大きな問題がまだ背後にあるのだと思います。

今日は時間がだいぶ過ぎてしまったので、何もなければこの辺で終わりにしたいと思いますが。

事務局

今回のアンケートは時間のない中で、作成したので、色々なご意見もありましたが、次回は事前配布させていただいて、もう少しスピーディーに進めたいと思います。先生のアンケートも校長会に諮るのもう少しお時間をください。

最後に副委員長お願いします。

副委員長

本日は遅くまで集中した審議をありがとうございました。南上の子供た

ちの幸せを思えばということで長い審議になったのだと思います。アンケート一つとってもどれも重要で、本当はここでもっと時間を取らなくてはいけないのだなと思いました。私たち校長がいつも確認することは子供たちに地域の良さ南伊豆の良さを授業の中でしっかり教えてやがては自分が南伊豆に戻ってきて子育てをするんだ、そういう教育を目指しています。ただ本当に険しい道になるとは思います、仕事がありませんので。大人は仕事を創出してあげましょうということで、子供たちは郷土愛を持ち、ここで子供を育てていくんだ、ここで働くんだ、ここで生きていくんだという、そういう子供たちを育てていくんだという思いでいます。思いは同じですが、この統合問題審議していますが、その先には中学校の統合問題があるわけです。現実問題として部活動が1校では存続できない状況に陥っています。このような中で、南伊豆のためには何が一番いいのかという事を念頭に置いて、次も話し合っていきたいと思います。本日はありがとうございました。